

であると考える。

(なお、本論文の内容は、第62回 国立病院総合医学学会にて発表した。)

【文献】

- 1) 二木芳人. 市中肺炎の変遷と診療に求められる対応 特集:市中肺炎治療とガイドライン. 最新医 2008; 63: 367-70.
- 2) 藤田 烈. 6章 手洗いの「いま」を知る実践を支えるエビデンス集 1 CDC ガイドラインから読み解く手指衛生の考え方. In: 洪愛子編. 現場を変える!徹底させる!手指衛生パーフェクトガイド. 大阪, MC メディカ出版, 2008: p224-39.
- 3) 崎浜智子, 森兼啓太編. 感染対策のためのサーベ

イランス強力サポートブック STEP. 4 フィードバック インфекションコントロール2008年春季増刊 大阪, MC メディカ出版, 2008.

- 4) Boyce JM. Pittet D. Guideline for Hand Hygiene in Health-Care Settings: Recommendations of the Healthcare Infection Control Practices Advisory Committee and the HICPA/SHER/APIC/IDSA Hand Hygiene Task Force. Infect Control Hosp Epidemiol. 2002; 23: S 3-40.
- 5) Frank H. Hawkins. Human Factors in Flight. Gower Technical Press, Brookfield, Vt., USA. 1987. (翻訳: ヒューマン・ファクター-航空の分野を中心として-黒田勲監修, 石川好美監訳, 東京, 成山堂書店 1992.)

今月の 用語 **隣に伝えたい** **新たな言葉と概念**

【リンクナース】

英 link nurse

「リンクナース」は、院内感染管理対策システムとしてイギリスでつくられた役割であり、感染制御チーム ICT (Infection Control Team) と現場とのつなぎ役の看護師として配置されている。その看護師たちは経験豊富な現場の看護師であり、「リンクナース」として任命することによって、情報の交換の要となり、ICT を補助して効果的な感染対策 (予防, 特定, 制圧) を遂行するという役割を担っているのである。

わが国でも厚生労働省「院内感染対策マニュアル作成の手引き」の中で、「院内感染対策の組織, 権限, 業務」の中に「管理システムの構築」として次のように書かれている。

各部署において、業務を行いながら感染管理者あるいは ICT (Infection Control Team) と協力をして感染対策や情報の収集を行う看護師 (リンクナース) を配置する方がよい。

ところで、最近では感染管理以外の分野でも専門チームの活動を推進するための役割を担う者として「リンクナース」を配置する病院もみられるようになった。たとえば、栄養サポートチーム, 褥瘡対策チームやリスクマネジメント委員会などである。それら専門チームの下部組織として現場での活動を遂行し、その成果を期待できる役割としての「リンクナース」の配置は、現在ではチーム医療・チーム活動の有効なシステムになっている。

〈関連団体〉日本感染管理学会, 日本がん看護学会

(国立病院機構名古屋医療センター 特命副院長・看護部長 南 美知子) 本誌659p に記載